

緑茶の生産地から日本を知る



中野万里奈

《目次》

- ①教材の目的
- ②教材のステップ
- ③具体的実践(1)
- ④具体的実践(2)
- ⑤具体的実践(3)



①教材の目的

対象..小学校3年生社会科

- ・一般教養であるお茶の名産地を知る。
- ・産地から地理（日本地理）を学ぶ。
- ・緑茶生産→流通→販売の流れから日本の農業や流通を学ぶ。
- ・地元埼玉県の緑茶である「狭山茶」を知る。
- ・社会科見学を行い、実際に体験する。

②教材のステップ

- (1) **日本地図**を使って銘茶の産地の位置を知る。
- (2) 一般常識としての**日本茶の知識**を深める。
 - **農林水産省ホームページ**より
- (3) **狭山茶**ができるまでを学ぶ。
 - **狭山市公式ホームページ**より
- (4) 入間市お茶の博物館から**歴史や文化**を感じる。
 - 事前学習：**お茶の博物館ホームページ**より
 - 体験学習：実際に**入間市博物館**を見学する。

③ 具体的実践(1)

● 緑茶生産地から日本地理にふれる ●

- ・ 日本地図を用いて都道府県的位置を知る。
- ・ 自分たちの地域に有名なお茶があるのか探してみる。
- ・ 教養として日本茶の知識を獲得する。

参考：農林水産省ホームページより特集1緑茶

(https://www.maff.go.jp/j/pr/aff/1704/spe1_02.html)

④ 具体的実践(2)

● 地域の名産品狭山茶について学ぶ ●

※将来は地元埼玉県で教師として就職しようと考えているため狭山茶を取り上げた。

- ・ 狭山茶の特色や品種を中心に埼玉県の有名な特産品を知る。
- ・ 生産工程から日本の農業を見る。

参考：狭山市公式ホームページより観光・産業狭山茶

(<https://www.city.sayama.saitama.jp/kankou/sayamacha/tya2.html>)

⑤ 具体的実践(3)

● 実際に見て学ぶ ●

※私自身が小学生の頃に社会科見学で訪れ、今でも覚えている。

- ・ 事前学習...インターネットで日本茶や狭山茶の歴史や文化を視覚で感じる。
班でテーマを決めて詳しく掘り下げていくこともよい。

参考：お茶の博物館ホームページ

(<https://www.alit.city.iruma.saitama.jp/070/index.html>)

- ・ 体験学習...入間市博物館常設展示室「茶の世界」を訪れて、五感で学ぶ。

参考：入間市博物館常設展示室ホームページ

(<https://www.alit.city.iruma.saitama.jp/030/010/20200101201000.html>)


⑥ 発展的探究

● ジャパンサーチでさらに学びを深める ●

JAPAN SEARCH. ギャラリー. 「茶」. CC BY.
<https://jpsearch.go.jp/gallery/ndl-wP0rdjlnnDUI80P>

JAPAN SEARCH 検索キーワードを入力

トップ・ギャラリー・茶



狭山茶 / NHK「みちる」より

茶

葉の加工品を飲料とするツバキ科の常緑樹。茶の交易は世界史に大きな影響を与えた

JAPAN SEARCH 検索キーワードを入力

もっと知りたい

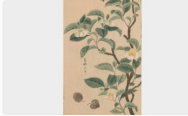




 <p>売茶翁図 京都国立博物館 『売茶翁』は、江戸中期の黄葉宗の僧、月海元龍。売茶翁はその別号。俗名、東山元龍。黄葉山に学ぶが、黄葉山に学び、のち京で茶を売って貧乏を救った。</p>	 <p>『Drink Japan Tea the drink for relaxation』 発行：茶業組合中央会議所、印刷：凸版印刷株式会社 静岡県富士山世界遺産センター 富士山を背景に茶を飲む女性。</p>	 <p>茶台 北海道アイヌ 東京国立博物館 江戸時代後期になるとアイヌの人々は、自らが使う日用品とは別に、茶台(茶托)を持ち、重宝として扱った。</p>	 <p>色絵月梅図茶壺 仁清、「仁清」印 東京国立博物館 茶壺は読んで字のとおりお茶を入れる壺で、抹茶(まっちゃ)にすりつぶす粉の茶葉を保管したもので、茶室の敷の敷物として使った。</p>	 <p>茶葉末双耳壺 中国・景德鎮窯「大清乾隆年製」 東京国立博物館 この作品も、乾隆年間における利目覚ましい開発のなかで完成した。箱の中の微粒子が、まるきり。</p>
---	--	---	--	---

茶道・茶の湯関連


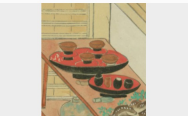



 <p>女礼式の内 茶の湯の図 楊斎延一・辻岡文助 国立国会図書館 『風俗雑録雑帖(ふうそくにしきえざつじょう)』より「女礼式(にょらいしき)」</p>	 <p>鴻池家伝来永楽関係資料 珊瑚地金彩三ツ松紋散紅茶碗・受皿 京都国立博物館 明治期に、京橋の14代家元、永楽得全(えいらくとくぜん)により製作された。</p>	 <p>色絵花鳥文鉄子 伊万里 東京国立博物館 鉄子(てつこ)は茶の湯で料理をふるまう際に、酒をお茶に差し出す。</p>	 <p>色絵染付雲龍文蓋茶碗 京都国立博物館</p>	 <p>萩茶碗 京都国立博物館</p>
--	--	--	---	---

JAPAN SEARCH 検索キーワードを入力

本で知る




 <p>本草図譜 巻70-72 岩崎常正、写 国立国会図書館 『本草図譜』より「茶の木」。別名「茗」「めざましくさ」、「茗」は遅く猶んだ茶とある。『本草図譜』は、江戸時代初期の</p>	 <p>農業全書 11巻 [7] 宮崎安貞 著、貝原益軒 補、貝原益軒、山中善兵衛[ほか4名] 国立国会図書館 江戸時代の農業技術書。宮崎安貞著、貝原益軒(益軒の兄)校閲。各巻に</p>	 <p>日本山海名物図会 5巻 [2] 平瀬敬齋 編、長川光信 画、塩屋卯兵衛[ほか] 国立国会図書館 『日本山海名物図会』から、「宇治茶」の解説と挿絵。『日本山海名物図会』</p>	 <p>群書類従 第451-452 刊 国立国会図書館 宋西著『喫茶養生記』(群書類従巻368所収)。喫茶の薬効を説いたわが国最古の茶書とされる。鎌倉時代初期の</p>	 <p>茶經3巻 唐陸羽撰、明馮時可撰、宋宋子安撰、賈年撰 国立国会図書館 世界最初の茶書。「さけい」とも、唐時代の文人陸羽の著。唐代に</p>
--	---	---	--	--

茶道・茶の湯関係

 <p>葛梅繪々詞 10巻 巻5 [慈俊] [善] [藤原久信、藤原隆幸、藤原隆]</p>	 <p>葛梅繪々詞 10巻 巻5 [慈俊] [善] [藤原久信、藤原隆幸、藤原隆]</p>	 <p>群書類従 第445-447 刊</p>	 <p>旧儀裝飾十六式図譜 [2] 猪熊浅磨 著、古谷紅麩 画、京都美術協</p>	 <p>御茶壺之巻 栗田口桂羽 [原因] [狩野友信] [</p>
---	---	---	---	---

JAPAN SEARCH 検索キーワードを入力

動画で探す

 <p>三重県四日市市 NHKアーカイブス 四日市市は三重県の北部にあり、市の東側は伊勢湾に面しています。昭和30年代にできた石油化学コンビナートは、日本で初めて作られたコンビナート。</p>	 <p>岐阜県可児市 NHKアーカイブス 可児市は岐阜県の中南部、岐阜市、名古屋市から30キロメートルほどのところにあり、住宅地として発展しています。志野焼は、桃山時代につく</p>	 <p>本山寺 NHKアーカイブス 香川県三豊市にある第70番札所七宝山本山寺(しっぽうざん もとやまじ)。本尊は馬頭観世音菩薩(ばとうかんぜおんぼさつ)で、四国霊場では</p>	 <p>産寧坂の町並み NHKアーカイブス 京都府の東山山麓に位置する産寧坂一帯は、清水寺、八坂神社、法観寺などの門前町として古くから賑わった地域です。産寧坂、二年坂の石段(石</p>	 <p>豊国神社 NHKアーカイブス 秀頼の将来を案じた秀吉は、五つ豊臣家の行く末を託し、63年6月に満ちた生涯を終えました。し、秀吉の死は、五大老の合議制を</p>
---	--	--	---	--

見に行く

ふじのくに茶の都ミュージアム
静岡県による、お茶の専門博物館。お茶の産業・歴史・文化を紹介する展示のほか、茶摘み・手もみ体験や、五感で感じる講座を充実させ、子どもから大人まで楽しくお茶について学ぶ機会を提供する。さらに、国内外の茶業関係者やお茶愛好者を対象に研修会等を開催し、情報集積・発信を行っている。